NEWS RELEASE

木を植えています
私たちはイオンです

２０２４年１１月１１日
イオン東北株式会社

子どもたちが“フードアルチザン（食の匠）”について学びます！

１１/１６(土)会津若松市で「会津みしらず柿」農業体験を実施

イオン東北は１１月１６日（土）、福島県会津農林事務所、会津若松市、会津よつば農業協同組合（福島県会津若松市扇町、代表理事組合長：原　喜代志）のご協力のもと、イオン チアーズクラブのメンバーが会津若松市で、フードアルチザン（食の匠）「会津みしらず柿」について学ぶ農業体験を実施します。

イオン チアーズクラブ活動の様子

「イオン チアーズクラブ」は、公益財団法人イオンワンパーセントクラブの「子どもたちの健全な育成」事業の１つで、小学生を中心とした子どもたちが、全国の各イオン店舗周辺を活動拠点として、環境や社会貢献をテーマに様々な体験学習を行い、楽しく学び、考える活動を行っています。

この活動の一環として、イオン東北は福島県会津農林事務所、会津若松市、会津よつば農業協同組合のご協力のもと、フードアルチザン（食の匠）「会津みしらず柿」について学ぶ農業体験を実施します。イオン チアーズクラブメンバーは、生産者から果物をつくる過程やおいしさへのこだわりについて学ぶとともに、会津みしらず柿の収穫を体験し、自分たちが住んでいる地域の農業や環境について楽しみながら理解を深めます。

イオン東北はこれからも、地域の皆さまとともに、次代を担う子どもたちの健やかな成長の一助となるべく、積極的な支援を行ってまいります。

【フードアルチザン（食の匠）「会津みしらず柿」農業体験の概要】
日　　時：２０２４年１１月１６日（土）１０：４０～１３：３０
体験学習地：福島県会津若松市　会津みしらず柿圃場、ＪＡ会津よつば 門田柿選果場、
　　ＪＡ会津よつば 門田支店
主　　催：イオン東北株式会社
協　　力：福島県会津農林事務所、会津若松市、会津よつば農業協同組合
参 加 者：イオン チアーズクラブ福島、イオン チアーズクラブいわき
　　合計１３名（予定：小学１年生から中学１年生の子どもたち）
主な内容：生産者による「会津みしらず柿」についての説明、収穫体験、渋抜き体験 等

◆会津みしらず柿について

会津みしらず柿は、福島県の会津地方で古くから栽培されている渋柿で、すぐには食べられませんが、「渋抜き」することによって甘い柿になります。肥沃な大地と清廉で豊富な水、盆地特有の寒暖の差が大きい気候がおいしい柿を育てる重要な要素で、会津の土地は柿の栽培に適しています。

イオンは、日本の伝統的な食文化を伝える食材や技術を生産者の方々とともに保存、継承する「フードアルチザン（食の匠）」活動の一環として、２０１６年に会津若松市、門田柿選果場運営委員会、福島県会津農林事務所、会津よつば農業協同組合とともに「会津みしらず柿食の匠協議会」を設立しました。

ご参考

■公益財団法人イオンワンパーセントクラブ

公益財団法人イオンワンパーセントクラブは、「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオングループの基本理念を具体的な行動に移し、社会的責任を果たすことを目的に、１９９０年に設立されました。以来３０年以上にわたり、お客さまにイオングループをご利用いただいて生まれた利益の１%相当額をもとに、「子どもたちの健全な育成」「諸外国との友好親善」「地域の発展への貢献」「災害復興支援」を主な事業領域とし、環境・社会貢献活動に取り組んでいます。

※公益財団法人イオンワンパーセントクラブの詳細は、ホームページ（https://aeon1p.or.jp/1p/）をご覧ください。

■イオンの「フードアルチザン（食の匠）」活動

「フードアルチザン（食の匠）」は、「地域の食文化を守る活動をしてほしい」というお声をお客さまからいただき、２００１年から取り組んでいる活動です。全国各地で郷土の味を守り続ける生産者の方々とともに、自治体や大学研究機関の協力をいただきながら、日本の優れた食文化の継承に取り組んでいます。２０２４年１１月現在、１道１府２８県の４１品目で「フードアルチザン（食の匠）」活動を展開しています。今回子どもたちが学ぶ「会津みしらず柿」は２０１６年に「フードアルチザン（食の匠）」活動として協議会を設立しました。

※「フードアルチザン（食の匠）」活動の詳細は、ホームページ（https://www.foodartisan.jp/）をご覧ください。

◆「フードアルチザン（食の匠）」活動の流れ

１．各自治体・地域より“知る人ぞ知る”地域の食文化をご紹介いただきます
２．生産者の方々から「次代に残したい！」という熱い想いや現状の課題を伺い、全国のお客さまにご支持いただける味かなどを何度も話し合います
３．全国に広がる店舗を活用したテスト販売で、お客さまの声を集めます

↓「フードアルチザン（食の匠）」活動として決定

４．生産者、自治体、イオンが参加する協議会を設立
５．同県＞同エリア＞全国 へと「イオン」や「マックスバリュ」などリアル店舗や、オンラインショップ「イオンショップ」で販売
６．加工品の開発や、全国の店舗を活用したＰＲイベントの実施
７．フードアルチザン（食の匠）活動を通じて産品をブランド化

■東北エリア内のフードアルチザン（食の匠）活動

【青森県青森市　あおもりカシス】

【青森県大間町　オコッペいもっこ】

【岩手県久慈地方　山ぶどう】

【岩手県北上地域　二子さといも】

【岩手県花巻市　雑穀】

【秋田県男鹿市　ハタハタしょっつる】

【秋田県三種町　じゅんさい】

【福島県会津若松市　会津みしらず柿】